

# 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

## 1 事業者等の概要

氏名又は名称	アスザック株式会社							
代表者名	氏名	久保正直	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県上高井郡高山村大字中山981							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	2123コンクリート製品製造業 2199他に分類されない窯業・土石製品製造業						
主たる事業の概要	ファインセラミックスの製品製造 コンクリートの二次製品の製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	3251	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	47	台

## 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

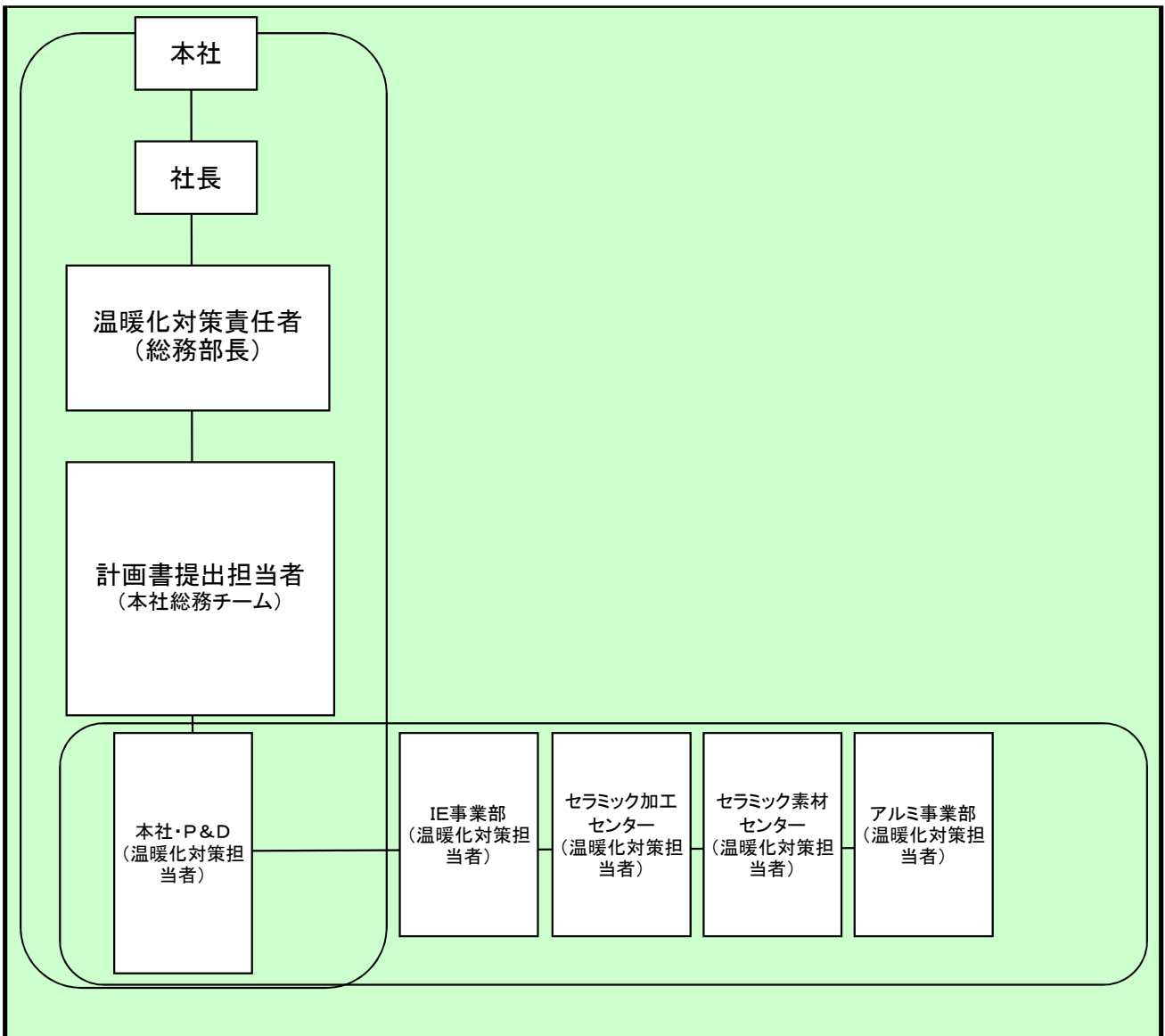
## 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	本社総務室にて保管 8:00～17:00 長野県上高井郡高山村中山981 TEL 026-245-1000
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

EMSによる目標管理、進捗管理を実施

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	5,581	t-CO <sub>2</sub>	生産高	23.2	単位	億円	
25年度	調整後排出量	4,701	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	240.56	t-CO <sub>2</sub> /	億円	
目標年度	目標排出量	5,414	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	233.33	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率*
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	<p>昨年一番大きな工場のLED化を実施してしまい大幅な削減が望めない状況。主要工場は既にデマンド計が設置されピークカット等にも取り組んではいるが3年間で3%の抑制目標を達成すると共に更なるピークカットの取り組みを進めていく。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	6,260	t-CO <sub>2</sub>	生産高	25.10	単位	億円	
	調整後排出量	6,234	t-CO <sub>2</sub>	原単位	249.40	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率*
26年度	削減率	(12.17)	%	削減率	(3.68)	%		
排出量等の増減理由	生産高が多くなった分、排出量も多くなった。							
第二年度	排出量	6,215	t-CO <sub>2</sub>	生産高	26.46	単位	億円	
	調整後排出量	6,196	t-CO <sub>2</sub>	原単位	234.88	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率*
27年度	削減率	(11.36)	%	削減率	2.36	%		
排出量等の増減理由	生産高と排出量が関係し、生産高が多くなった分、排出量も多くなった。							
第三年度	排出量	6,947	t-CO <sub>2</sub>	生産高	27.20	単位	億円	
	調整後排出量	6,915	t-CO <sub>2</sub>	原単位	255.40	t-CO <sub>2</sub> /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率*
28年度	削減率	(24.48)	%	削減率	(6.17)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	生産高と排出量が関係し、生産高が多くなった分、排出量も多くなった。							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	99	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	150201照明器具及びランプの適正な選択	26	15	26	15
2	エネ起	380752LEDの導入	26	15	26	15
3	エネ起	380752高輝度放電ランプ等効率の高いランプ導入	26	5	26	5
4	エネ起	150201照明器具及びランプの適正な選択	27	15	27	15
5	エネ起	380752LEDの導入	27	15	27	15
6	エネ起	380752高輝度放電ランプ等効率の高いランプ導入	27	5	27	5
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	880		26	19	32
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	6	5,581	5	6,260	8	6,215	8	6,947
合計	6	5,581	5	6,260	8	6,215	8	6,947

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他			7	10
合計	0	0	7	10
自動車総数	52	45	45	47
次世代車導入割合			15.6	21.3

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特に無し
その他	特に無し

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特に無し
公共交通機関の利用促進	特に無し
来客者の交通対策	特に無し
物流の合理化	特に無し

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001アスザック本社・P&D	平成11年
2	ISO14001アスザックFC・アルミ	平成17年
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	環境配慮した製品の開発・製造・販売 環境ISOを横展開し、全社に広げる活動を行っている 環境会議を開催し、グループ内で効果のあった対策を横展開している。(遮熱塗装の効果が大きく横展開した)
第一年度実績	環境配慮した製品の開発・製造・販売 環境ISOを横展開し、全社に広げる活動を行っている 環境会議を開催し、グループ内で効果のあった対策を横展開している。
第二年度実績	環境配慮した製品の開発・製造・販売 環境会議を開催し、グループ内で効果のあった対策を横展開している 環境ISOを運用し社内教育をキチンと行い環境に対する意識を高めている
第三年度実績	環境配慮した製品の開発・製造・販売 環境会議を開催し、グループ内で効果のあった対策を横展開している 環境ISOを運用し社内教育をキチンと行い環境に対する意識を高めている

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	昨年工場移転に伴いLED化が一気に進み、屋内電気料が大幅に削減出来た。遮熱塗装も効果があり夏場だけでなく冬場に効果が出て30%近い電気代の削減。ミウラの最新型ボイラーへの切りかえにより大幅な燃料費削減となった。事務所とはいえデマンド系を設置しピークカットに努めている。など	
その他	特に無し	